成人向け

R18

◇ Adult only
◇ Unofficial fanbook

うすいからだ合同

11月

わるい子クラブ

創刊号

豪華ゲスト陣による
漫画・イラスト集！

minayu
うらべさん
shibatenn
175
内藤さん
こかりあ
すてるすらいたー
IYA

エッチな漫画・イラスト・小説
ぎゅぎゅっと52ページ！

平たい胸のアバター・フレンド大集結!!

うちの子オリジナルR18漫画

サナティア単話22ページ

＋挿絵付き小説10ページ

デルタフレア・真冬/トラス
文・かーの、Tsumiki　絵・IYA

The VOYAGE

with KHMB

わるい子クラブ

2025/11/16 発行者:IVA
1919114514810

電脳同人見本市
デンドー
Ver1
漫画
読めます!
あります!!
2025
9月6日(土)・7日(日)
GROUP+にて21時から開催 in VRChat

ハァ～…
最近ツイてないなー
楽しみにしてたイベントに落選するし…
バサッ
周りはお砂糖ラッシュで俺だけ独り身…
なんかいいことないかなー…
パンパカパーン!!
ビクッ
な
なんだぁっ!?
バッ

不幸なアナタに救済を！
人類救済プログラムのデリバリー係、サナティアちゃんが
かわいそうな君に救い（ヘルプ）をお届けに来ましたよ！
ファサッ
な…え？
いったい君は…
ゴンッ
あたっ!?

あたっ!?
しかし
アナタ…
?
お砂糖もいない…
コミュニティは
痴情のもつれで解散…
人肌を求めてイベントに
応募するもすべて落選…
グサ
グサ
グサ
本当の愛を
知ることなく
このまま老いて
死ぬのみ…
あまりに
かわいそう…
はいっ
そうです!
で…要約すると
不幸が続きすぎた
恵まれない
俺みたいなのを
立ち直らせる
ために天界から
来たってこと?
人は絶望な生き物…
幸福すぎても
不幸すぎても
堕落していきます…
正しい道へ人が進むためには
「ちょうどいい」幸福度に
導かなければ
ならないのです…

そこで！
アナタが前を向いて
生きていけるように
ボクが願いをひとつ
なんでも
叶えてあげます！
ピクッ
ん？
じゃあ
セックスを
お願いします
えっ……
誰かしたい
相手が
いるんですか？
君と
したい
ボ、ボクとしたら
幸せになれるん
ですか？
ハイ
今…？
ハイ
うぅ…
でも幸せになる
方法なんて
ほかにいくらでも…
ほら旅行とか…
おいしい
食べ物とか…

それにボクとしたって
つまんないですよ
きっと…
チラ
胸もないし
寸胴だし…
ボクなんかの
体見ても
興奮しないと思う…
そんなことない！
ボロン
キャッ!?
ドキッ
はっ はやく
しまってください！
この…
おっ おちんちんを…
ビキ
ビキ
でももう
出しちゃったもんは
しかたないし…
してくんないと
幸せになんないよ
うぅ…
なっ
なに
出して…
セックスと
いえばまず
前戯でしょ？
し、
しらないよぉ…

……
ほ、ほんとにボクとえっちしたら幸せになれるんですね？
なるなる
ウソじゃないですよね？
うんうん
うぅ…わかりました…
ギン
ギン
そろ～
にぎっ
ちろっ♥
うおおっ!!
ビクッ
ちっちゃい舌がアイスを舐めるみたいにチロチロと…っ

ぷろ…
れる
はむ…
ちゅっ
ヒクヒクッ
う…
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
かわいいお口で
何度もついばまれて…
刺激がたまらんっ…
天使のふわふわほっぺが
しっとり押し当てられて
気持ちいい…
ぷに…
スリ…
ふにふに

ちゅ♥
つぷぷ…
にゅるにゅるにゅる…
おふっ
ヌルヌルなのにきゅっと吸いついてくる…
ちゅっ
ちゅ
あったかい口内が気持ち良すぎてすぐイキそうだ…
くうっ

あっ
もうイクッ
ヤバ
ふえ？
ちゅぽ
ちゅぽ
ちゅぽっ
あっ♡
びゅー!!
びゅー!!
ビク
ビク
んぐっ!!

うぅ…
いきなり出すから服が汚れちゃったじゃないですか…
ドロ…
天界になんて報告すれば…
ヌギッ
!!
やだ…
ヌト…
服の下までぺとぺと…
スル…
どうしよう…とりあえず拭いて…
ムクムクムクッ
あっ下まで垂れてきた…っ
タラ…
人間さん何か拭くものありませんか？

うおおっ
キャッ
ドキッ
ガバッ
もこっと
人間さん！
この恰好は恥ずかし…
ふにっ
ピクッ
あっ
ありませんか？

んっ…んん…
っは…
ぷに
ぷに
あっ!?
ビクン
クリ
クリ
ずっと乳首いじられてる…
う…頭がふわふわしてきた…
あっ
あ
んッ…
あ、
んん〜っ
クリ
クリ
あ
あ
ん
サナティアちゃん顔あげて
え?

乳首いじられて
気持ちよくなってる
自分の姿が映ってるよ
あ…
ビクビクってして
快感に身を震わせてる
自分の姿が
しぶってたクセに
お胸いじられてるだけで
喘いでるなんて
はぁ…
ナナティアちゃんて
えっちな子
なんだね
ばか♡
あっ
カアアアッ
恥ずかしい!!
ちがっ
えっちなんかじゃ…っ
ビク
あ
ビク
逃げたいのに…
気持ちいい……っ!
クリ
クリ
クリ
イクッ
はぁ
クリ
クリ
んっ
あ
え?

イクッ
パチュッ
パチュッ
ビクンッ
きゅ～っ♡
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
くた…
ビクッ
軽っ
ビクッ
ハァ…
ハァ
ハァ

ヌッ
ギシ…
バッ
ズイッ
ビクッ
ひえ…
あ あの さっき出したばっかでもうこんな勃ってるの…？
一段と大きくなってる気がするし…
ボクの…小さいし入んないよ…
おず…
やっぱり今からでも考え直して…
え？やめるの？

そう言われても
もうまんこは
準備万端のように
見えるけどなぁ
え？
ズワ…
気づいてないんだ
もうすっかり濡れて
ヒクヒクしてるのに
ちょっ
見ないでっ
ヒク
ヒク
早くちんぽ
入れてほしいって
ねだってるみたいだよ
ウソ
ウソ
ウソ
ぷーにっ
!!!
あ
あ…
あ
ほら ちんちん
あてがってるだけで
勝手に入ってく
咥えこんで離さない
みたいにキュウキュウ
締め付けて…
ズッ
ズッ
ちがっ
身体が欲しがって
無意識に
受け入れてるんだ
お望み通りもう
入れてあげる
からね…
ウソ
こんなに
濡れてるなら
もう…あ…すぐ…
まっ
挿入(はい)っ…
ヌプ
ププ

あッッ!!
ズク
ズク
はぁ…っ
ズク
ズク
フーッ
フーッ
フーッ
ヤバ…天使のまんこ
気持ちよすぎる…ッ
キュウゥ
ほかほかで温かくて
ふわトロで…
パン
パン
パン
パン
あっ
あっ
あっ
あっ
極上の柔らかさで
腰が止まらないっ

ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
あっ
ハァハァ
ハァハァ
っていうか
感度良すぎるだろ
めちゃくちゃ
喘いじゃって…
やっぱ
えっちな子
なんだ
あ、
う…
ボク…
ほんとに
そういうの
したことないし…
えっち…
じゃないもん…
ん…
あ、
はぁ…
パン
パン
パン
ズッ
ズッ
ズッ
ビクッ
そうは
見えないなぁ…
すごい
気持ちよさそう
なんだが
あ
ずっ
ずっ
はっ
それ…は…
きっと……

お兄さんとの相性が良いんですよ…
ぷるっ
ぎゅっ…
!!
なんて…
ドキ
えへへ…♡
ドキ
ドキ
…っ
くゅっ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
ぱちゅ
サナティアッ
あ
あ
あ
あ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ちゅう

もうッ
イきそ…ッ
中に出すぞッ
サナティアッ
パチュ
パチュ
パチュ
はっ
はっ
はっ
ズッ
ズッ
ぱち
ぱち
はっ…はい
出して
くださいっ
お兄さんの
欲望ぜんぶ……
パン
パン
パン
パン
パン
受け止め
ますっ…
くおっ
限界だ……
出る…ッ
ビク
ビクッ
ビクッ
あっ
ボ、ボクも
もう…ッ！

ハァ…
ハァ…
ハァ…
ハァ…
ちゅ♥
！
えへへ…
ボクも一緒に幸せになっちゃいました……♡
てれ…
…よし！
それではボクはこれで失礼しますね
えっもう行っちゃうのか
はい！あくまで不幸があった人への救済サービスなので！
そっかぁ残念だけどおかげで今幸せだし…まぁ…
ん？会社から電話が…
プルルル
はい…はい…
え…？
ば 爆発!?
会社が爆発して消滅した!?
明日から無職!?
ちょ待って…
あ…
ツー
ツー
ツー…
マイクロビキニでいちゃいちゃセックスしてくれないと幸せになれないよー！
ケモハンド付きで！
バサッ
知りませーん!!

うっし
久々に
改変するかー
カチ
カチ
カチ
衣装を着せる
ために一旦
脱がして…
パロ

コンテンツ

IYA…… 1p
かーの/IYA…… 24p
Tsumiki/IYA…… 32p
minayu…… 34p
こかりあ……36p
175…… 40p
shibatenn…… 44p
うらべさん…… 50p
すてるすらいたー…… 51p
内藤さん……54p

ちんちん盆栽

この本は成人向けです

この本は同好者の間でのみ
楽しむことを想定したいわゆる同人誌です
実在の人物・団体、公式とは一切関係ありません

大人になりたい、わたしたち。
-karno-

「じゃあ、僕と付き合ってみる？」

なんて、揶揄われてるのは分かっているのに、真面目に頷いてしまったのはきっと、彼女の微かに香る煙草の匂いがわたしを大人にしてくれそうな気がしたから、だと思う。

わたしよりも少し年上の真冬ちゃんは、友達の友達、といった立ち位置で、実のところとても仲が良いとは言えないのだけれど、だからこそ相談してみようという気持ちになったのかもしれない。

「トラスが最近構ってくれないの？そりゃあ、ほら……ヤツは最近ようやく彼女が出来たからさぁ、しっぽりヤることヤッてんじゃない？」

ヤられてるのかもしれないけどさ、なんて薄く笑う彼女のブラックコーヒーと比べて、わたしのメロンクリームソーダ（ちゃんとさくらんぼが乗っているやつ！）は酷く幼く見えて、

「あーあ、わたしも恋人がいたらなぁ……」

なんて、一生懸命背伸びをする。大人な、あるいは大人になっていく友達に、本当にわたしだけが置いてかれる気がしていた。そんなわたしに投げかけられた彼女の言葉はまさに劇薬で、揶揄われてるのは重々分かっていたけど、とにかく目を伏せて頷いた瞬間から、彼女との関係は「友達の友達」から「恋人どうし」になったんだ。

真冬ちゃんと付き合ってみてはじめて、彼女が存外律儀だということが分かった。態度こそいつも気だるげな彼女だけれど、さりげなく車道側

に心が温かくなる。不満らしい不満といえば、デートの帰り道、別れ際に

「じゃあ、またね、デルタ。」

と言ってキスする箇所がおでこであることぐらい。やっぱりこんなちんちくりんにはおでこへのキスがお似合いなのかな、と思うこともあるけど、真冬ちゃんのあの優しい瞳を見ると何も言えなくなってしまう。どうやらわたしは、思ったよりも真冬ちゃんのことが好き、みたいだ。

そんな穏やかな毎日が続く、はずだったんだけど……

「うぅ、デルタぁ……」

たしを抱きかかえて自宅に顔を埋めている。日がとっぷりと暮れたころ、突然わたしを訪ねてきてからずっとこの調子。電球色の照明の下、今はもう深夜に差し掛かる時間帯だけど、どうしたの?とか、そろそろ落ち着いた?とか、声を掛けるたびにギュっと力を掛けられる。まだ、らしい。腕をやさしく叩きながら声をかける。

「ねぇ、何があったのかだけでも教えて?なんでも聞いてあげるから、ね?」

「……デルタが」

「わたしが?」

「僕と別れたいって」

「えっ、言ってないよねそんなこと?」

「……夢で」

「……あっはは、夢のことには責任は取れないよぉ」

どうやら、夕方から寝落ちしていた真冬ちゃんは夢見が悪かったらしい。ほっと気が抜ける気持ちと、頼ってくれている、執着してくれているという嬉しさが入り交じる。

「ねぇ、失望した？僕がこんなんで。……はぁ、デルタにはかっこいいお姉さんでいたかったのになぁ」

「ううん、真冬ちゃん。わたしは嬉しいんだよ？ずっとわたしじゃあ魅力が足りないのかなって思ってたから。ずっとお情けで付き合ってくれてたのかなって思ってたから」

「まさか、その反対。この際だから言っちゃうけどさ、ずーっとデルタが好きだった。どうにかして僕のものにならないかなって思ってた。……でもさ、デルタはいい子だから、僕なんかと付き合ってちゃダメなんじゃないかって、今でも思ってるよ」

偶然かもしれないけど、真冬ちゃんは今までの関係を超えて、わたしにすべてをさらけ出してくれている。ねぇ、わたしも一歩、踏み出してみてもいいかな？

「……ううん、全然いい子なんかじゃないよ。わたしだって、こういうこと、考えたりするもん」

回されている腕を解いて、そっと胸に触らせる。自分で動かしたのに、真冬ちゃんに触られている、そう認識しただけで背筋が甘く痺れた。

「ねぇ、わたしを真冬ちゃんのものにして？」

「じゃないと、わたしが」

腕をやさしく解いて、真冬ちゃんと向き合う。

「全部奪っちゃうよ？」

そう言って、唇を奪った。

「ふふ、かわいいね。大好きだよ、デルタ」

でも、威勢よく行けたのはキスまでだけ。目が据わった真冬ちゃんに下着姿でベッドに転がされると、同じく下着姿になった真冬ちゃんにぴったりと寄り添われる。

「……うぅ、あんまり見ないでよぉ」

「ダーメ。ほら、よく見せて？デルタの身体、可愛いんだからね」

腹筋、みぞおち、鎖骨、首筋と順番に撫でられ、キスを落とされる。それぞれ律儀に反応してしまって、それ自体にまた恥ずかしくなってしまう。

「ブラ脱いじゃおっか？ほら、いつもはどんなこと考えてるか教えてほしいな？」

もう顔だけでなく全身が熱くなってきた。いじわる、と小さくつぶやきながら、スポーツブラを脱ぐ。今更だけど、可愛い下着にしておけばよかったな。

「はぁ……かわいいねぇ、触るね？」

ふにふにと優しく触られているのを感じる。恥ずかしすぎて、もう視線を向けることすらできない。触れて確かめるような触り方から、くすぐったり、揉んでみたりと、だんだんとわたしの興奮を高めるような触り方になる。さっきから甘ったるい声が聞こえていたけど、それが自分の声だって気付いて、それと同時に先端に触れられて、背筋が大きく跳ねた。

「デルタの身体、すべすべで気持ちいいね？ねぇ、こっちも触っていい？」

頭がぽわぽわするのを感じていると、いつの間にか真冬ちゃんの手がおへその下まで伸びていた。わたしが反射的に「ぁ、ダメぇッ！」と声を出すのと同時に、下着の中まで滑り込んだ真冬ちゃんの手の先で、ぐちっ、と大きな水音が鳴った。ダークグレーの下着は、その部分だけとっくに色が変わっている。

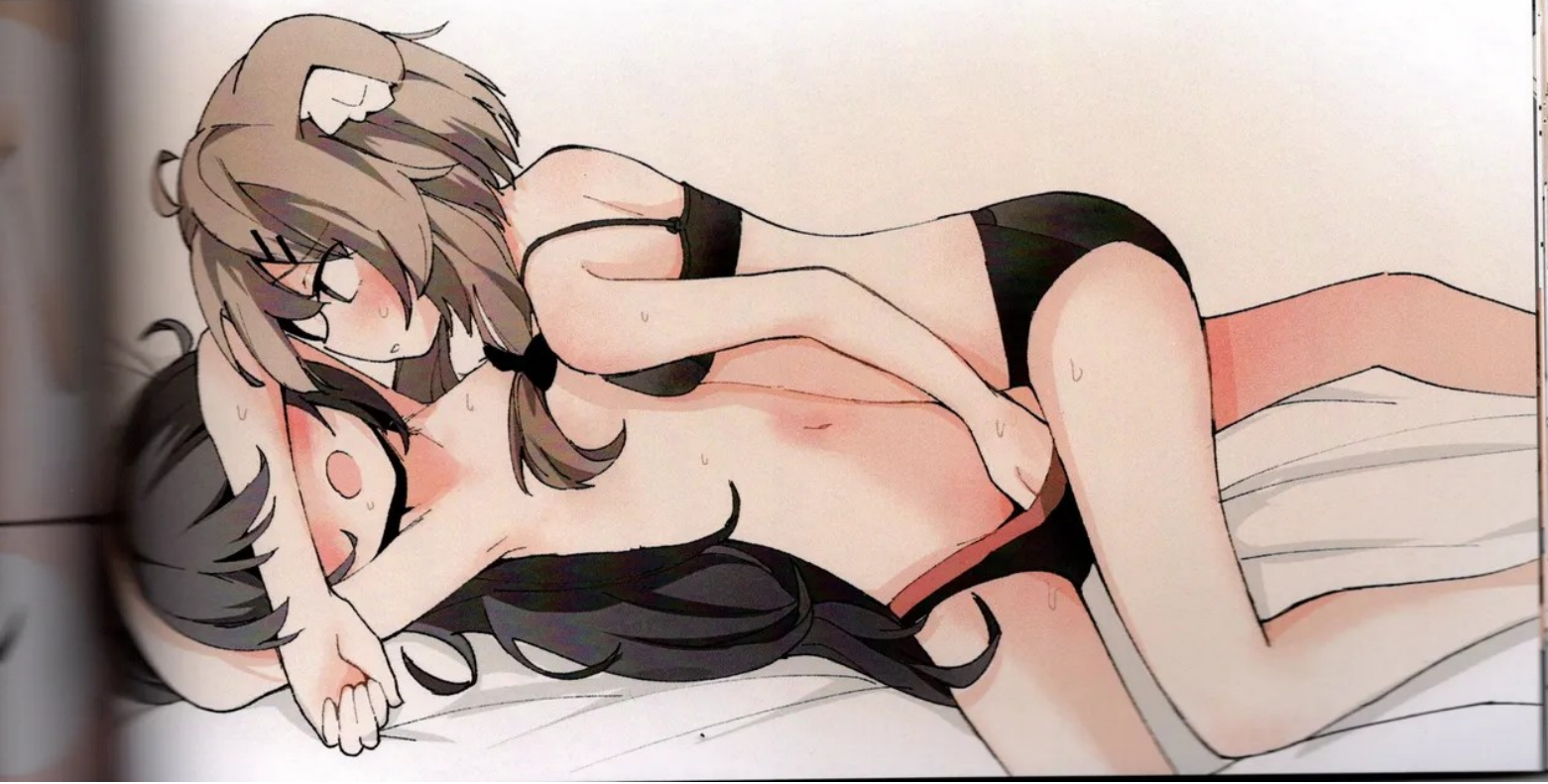
「ふふ、デルタも気持ちいい？下も脱がしちゃうね？」

あまりにも恥ずかしくて、顔を両手で覆ったまま、コクンと頷いた。濡れそぼった下着に軽く引っ張られる刺激を感じて、恥ずかしいやら、き、気持ちいいやらで、こぷっ…っと熱いしずくがこぼれていくのを感じる。

「うぅ……」

「こら、隠しちゃダメだよ。せっかく可愛いんだから」

真冬ちゃんはそう言いながら、太ももの付け根を撫でたり、おへその下にキスをしてくれる。恥ずかしいよりも何よりも、どうしようもなくも



「さ、さわっ…て…？」

「っ！！」

目を見開いた真冬ちゃんは、ひとつキスを落とすと、ゆっくりとわたしのそこに手を沿わせた。目の前に火花が散り、真冬ちゃんの腕をぎゅっと抱きしめる。そのままゆるゆると撫でてくれる真冬ちゃんの動きに合わせて、お腹の奥がどんどん熱くなる。真冬ちゃんの愛と優しさを感じて、もっともっと欲しくなってしまう。

「ねぇ…そのまま、いれて…？わたしの初めて、もらって…？」

「…いいの？」

「おねがい、きちゃう、からぁ……っ…！」

真冬ちゃんの手が、もっと奥に滑り込んでくる。挿入って、くる。

「はぁっ……ぐっ…ぅ…っ！」

真冬ちゃんの細い指が、わたしのなかに沈んでこようとするのを感じる。おなかは壊れてしまったかのように勝手に力を込めたり緩めたりを繰り返していて、わたしの目の前にはもうずっとスパークが散っている。

「大丈夫？痛くない？」

「だい、じょうぶ、だからぁっ…もっ、とぉ…」

気持ちいい、溶けそうなくらいに気持ちよくて、どこへ連れて行かれるのかも分からない。必至に掴んでいる真冬ちゃんの腕だけを頼りに、ギ

リギリの理性を保っていると、ぷつっ、と鋭い痛みと快感が走る。

「ぅ、ぐっ…ぁ、イッ……ちゃっ……！！」

視界が、脳が真っ白になって、身体が勝手に跳ねるのを感じる。もう何かを考える余裕もなくなって、わたしはそのまま意識を手放そうとした、その瞬間。

「愛してるよ、デルタ。」

その言葉に、わたしも、と返せたかは分からないけど、真冬ちゃんの温もりを確かに感じた。

まんまるリングに甘い毒

- Tsumiki4510 -

「ん〜…！おいし〜〜！！」

私はトラス。
今ドーナツを食べてて幸せの絶頂状態。
向かい側でガッツポーズしているのは、同居している料理好きの○君。

「…ん、ごちそうさま！おいしかった！」
「えへへ、いつもありがとね。」

美味しい料理を食べて、ゲームをしに自分の部屋へ戻る。今日もいつもと変わらない一日…の、はずだった、のに……

――――――

「はっ…はぁっ…あぅっ……///」
「…っ♡ゆび、とまらなっ…やばっ…♡」

わたし、発情しちゃってる？どうして…？
身体、言うこと聞いてくれない…。
指、とまんない…なにも考えられない…
あ…いく、いく、ぅっ……！

「…〜〜っっ♡♡……あ…んぇっ…？
ぜん、ぜん…」

…い、イッたのに、全然収まらないっ…
やっぱり、彼を頼るしか…

……気付いたら、私の身体は誘われるように彼の元へと動いていた。服の袖をつかんで、それっぽく誘惑するけど…彼は気付いてくれない。頭を軽く撫でて離れようとする彼に、私の理性が遂に限界を迎える。

反射的にどさっ、と彼を押し倒した直後、僅かに理性が戻る。でも、身体はもう止まってくれない。

「っあ…ご、ごめんっ…でも…もう、限界なのっ…ごめ、んねっ……♡」

徐に彼の服を脱がしていき、露になったソレを見て恍惚とする。

…こんなの、見せられたら、もう……

「んんっ…あっ、うっ～～～……♡♡」

挿れた瞬間、強烈な快楽が私を襲う。

なにこれ、こんなにすごいの知らない…

頭、ふわふわして……。

「こっ…♡これっだめっ♡こし、とまらな、ぁっ♡ふあぁっっ♡♡」

いくの、とまらない…きもちいいの、ずっとつづいて…なにも、考えられなっ…♡

「あっ♡やぁっ♡、あ～～～っっ」

――――――

…翌朝、流石におかしいと思って問い詰めたら、昨日のドーナツに媚薬を仕込んでいたことを白状した。

「…まあ、私も気持ちよかったし？ああいうのも、たまにはいい…ケド…」

…昨日の、凄かったな…あんなに気持ちいいなら…またやられても、許しちゃうかも。

～ END ～

まふゆちゃんとわんわん催眠❤

作.MINAVU

んっ❤
ぴくん
まゃう❤
わう❤
いつもスパッツチラチラさせて誘ってきやがって！
工冬の中にっ射精るっっっ！
てりゃる〜〜っ♡
めっちゃ出たやばすぎ・・・
あ、まだかわいがってやるから覚悟しろよ。
ぴくぴく
ぴゅ
ぴゅ
ぴゅ

イエ～イ！w
ピース
ピース♪
なんだお前ら～？
俺の股間見たいのか？w
見たけりゃ
見せてやるよw！
うわぁ…
#股を閉じろ
5れんきん
抜けねぇ…
（ないわぁ…
催眠ギミック

!?
にゃあああああ！！！
なんでぼく下履いてないの！！？？！
！！？！？！
それに足が閉じれにゃい！！！？？
誰かたすけて～～！！
えっろ……
#股を開け5れんきん
ありだな…
抜ける

？
なんでそんな
上から写真
撮ってるの？
ピース？
いいよ～？

あっ…
ふ～～ん…ｗ
いいよ～
いっぱい撮りな～？
へんたいさん～ｗ

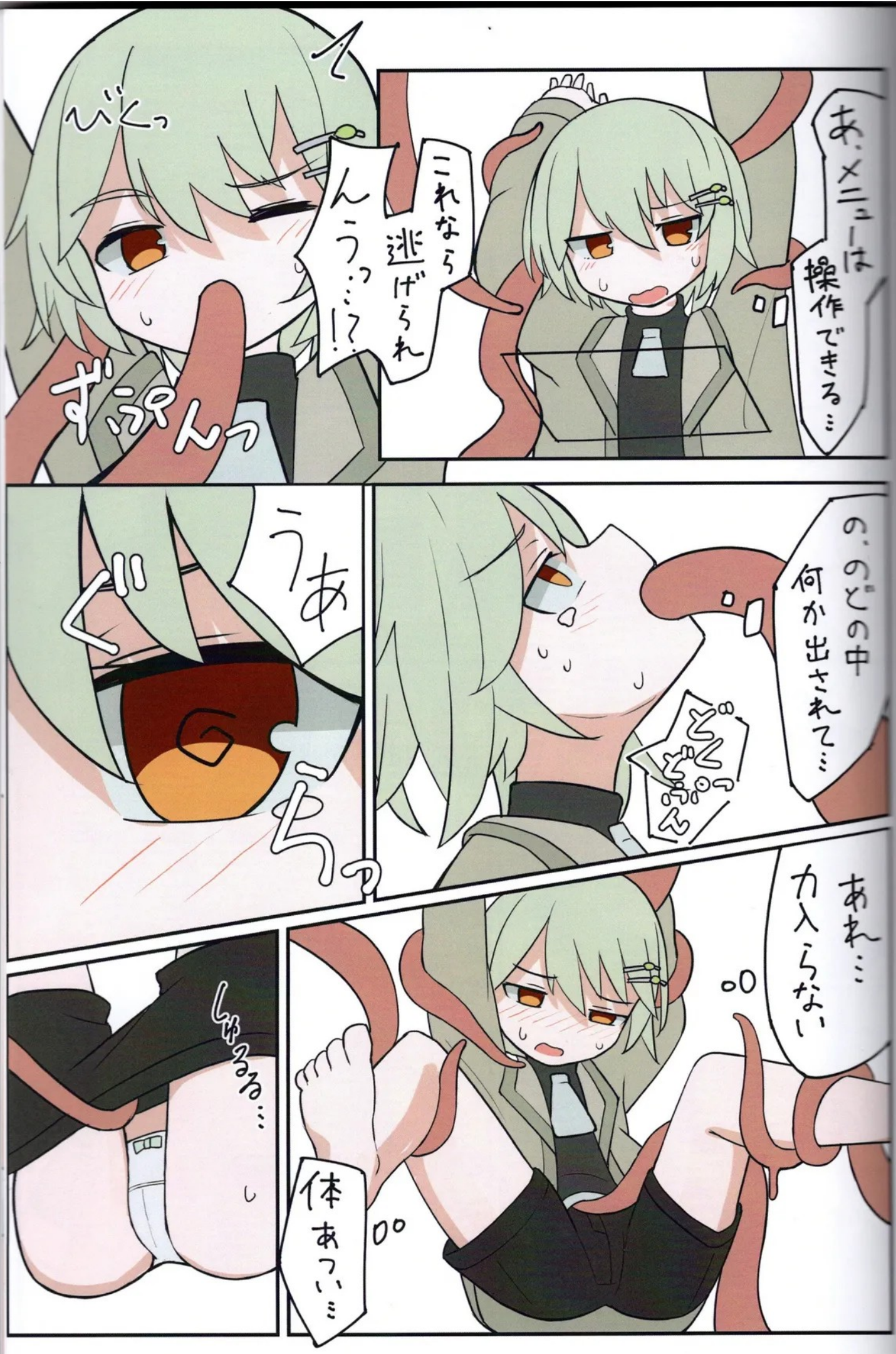
ボロン
びくっ
それそれ
クプ
クプ

くちゅ♡
くちゅ♡

ハメ!!

チカッ
チカッ
ぴゅ～
どぴゅぴゅ
ぬる～

しーん
こんちゃら
あれ？
誰もいない…？
丁度入れ違っちゃったかな
うそ…
まいっか別のとこにこ
うそ…
しゅるっ
なっ…何!?
にゅるーん
なんかのギミック!?
や、やめろぉっ


あ、メニューは操作できる…
これなら逃げられんっ…!?
びくっ
ずぷんっ
の、のどの中何か出されて…
どくどくっ
うあ
ぐぃ
ぐちっ
あれ…力入らない
体あつい…
しゅるる…

とろっ♡
はっ
はーっ
すりすり♡
はぁっ…
ぴくっ♡
すりすり♡
うぅ…
ぱんつの上から
さわられるの
なんか変…♡
あ
まって
すりくちゅ♡
じわっ♡
なんか
くるぅ♡

な、何これ
ばちっ
ちがっ
びくっ
びくっ
逃げー
びくんっ
するっ
ばちっ
じゃ
はっあっ
びくんっ
キュウうんっ
!!?
ずうぅんっ
びくんっ
びくっ
中に入ってっ
ぐちゅっ
びくっ
びくんっ
今それだめえっ
ずぅんっ

おっ
だめ
また
くるっ
びくんっ
ガクガクッ
きちゃう
ぐいーっ
プシッ
プシッ
びくん
びくん
あっ
あっ
あ
びくーん
びくん
ビクビクビク
プシャッ
びくんっ
プシャッ

あ…
夢だって…
ここ!!!

ここ
ぱんつぐちょぐちょ
洗わないと

考えてみれば
あんなの本当なわけないよね…

きがえてしゃわるかー
おわり

トラスちゃーん？悪魔なんだからもっと搾り取っくれないと
サナティアちゃん天使らしくない声だしてだらしないぞー？
あぁ
あ
あ
ごめんなちゃい
だってぇ
ちからはいらふ
ん
ん
おっ
びくびくっ
びゅるる

トラスちゃーん
遊びに来たよ～
ひょこっ
えっ!?
あっ!!
あっあの…
サナティアちゃん…
こっこれはその…
ドキドキ
わぁ
トロッ
トラスちゃーん♥
ちょっ
サナティアちゃん!!
ガバッ

人の域に留めておいたデカパイが本来の姿を取り戻していく。
人の欠けたブレンドシェイプを解いて、シェイプキーを超えた爆乳神に近い存在へと変わっていく。
尻と乳とエロ布を紡ぎ、相補性の巨大な電脳空間で、
自らをドスケベアバターに改変させているんだわ。
純粋に肌面積を広げる、ただそれだけのために…

IYA

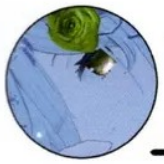
IYA

…うんち

パスワードは「ちんちん盆栽」

かーの

…うすいからだの女の子同士に働く力学を解き明かすことでノーベル賞を狙っています



Tsumiki

…いちゃらぶせっくすは、いいぞ

minayu

…催眠っていいですよね。おらっ催眠！人語禁止な？？？

175

…多分断面図が好きなのかも

shibatenn

…にゃーん(ホソバチャをよろしく)

うらべさん

…薄い体最高！！サナ〇ィアちゃん最高！！！微塵の膨らみのない胸が大好きです。いいよね。

すてるすらいたー

…サナトラ２Ｐスク水なかよし描きました！
きもちよくてふにゃふにゃになってる女の子はかわいい！！すてるすらいたー

内藤さん

…次はもっとえちちなシチュエーションで描きたいですねぇ！

わるい子クラブ　創刊号

令和七年十一月十六日

発行サークル　い屋
代表　IYA
連絡先　iyada00eye@gmail.com

印刷所様　プリントオン株式会社

お借りしたアバター

サナティア-Sanatia-
【オリジナル3Dモデル】
…ふかんじ屋 りら 様

【デルタフレア】オリジナル3Dモデル
…VERMILION.Studio 様

真冬 Mafuyu ／オリジナル3Dモデル
…ぷらすわん 有坂みと 様

3Dモデル『トラスとウェッジ』
…Nylon heart ヨネマル 様